

報道関係者各位

2021年2月24日（水）

株式会社タスキ

2050年のカーボンニュートラル達成に向けて環境に配慮した 家具・家電付IoTレジデンス新シリーズ「タスキSmart不動産」が竣工

不動産テックを活用した新築投資用IoTレジデンスの企画開発を行う株式会社タスキ（本社：東京都港区、代表取締役社長：村田 浩司、証券コード：2987）は、2050年までのカーボン・ニュートラルの実現を目標に、環境に配慮したIoTレジデンスの新シリーズ「タスキSmart」を開発。第一弾物件「タスキSmart不動産」が3月15日に竣工いたします。



◆ 「タスキSmart」開発の背景

IoTレジデンスの企画開発では、建築時のみならず、継続的なメンテナンスにも多くのエネルギーを考慮した設計が必要となります。二酸化炭素の排出増による気候変動は、資材調達・建築費用の高騰に繋がるだけでなく、電気代やメンテナンスの費用が増大する可能性があり、当社にとっても重要な事業課題であると認識しております。

不動産に関わる事業者は、街づくりの一部を担う一員として、また世界で進められているスマートシティ構想の実現のためにも、環境を守る建物を提供する責務があると考えております。そこでタスキは、環境に配慮したIoTレジデンスの新シリーズ「タスキSmart」を開発することにいたしました。

◆ 「タスキSmart」の環境への取り組みの特徴

- ・家具・家電付きのため、引っ越しの負担を軽減。家財ごみの排出を抑制。
- ・低層階マンションに特化し、エレベーターを付けず消費電力を削減。
- ・消費が少なく料金が安い深夜の時間帯に稼働する電気温水器のシステムを採用。
- ・スマートハウス設備完備。IoTデバイスで家電の遠隔操作が可能に。エネルギーの無駄を削減。
- ・内装の壁紙を削減し、高耐久かつ遮熱効果のある塗装を採用。退居・転居時の原状回復工事に伴う壁紙ごみ排出を減らし、メンテナンスも最小限に。

◆ 「タスキSmart不動産」概要

種別	新築 家具・家電付IoT対応レジデンス
想定利回り	満室時 約4.5% (表面)
想定収益	年間 13,056,000円 (管理費等含む)
交通	東急目黒線「不動前」駅 徒歩2分



◆ 投資用不動産購入者の、環境への関心の高まり

当社が提供するIoTレジデンスは、富裕層の方の節税対策としても高い支持をいただいております。2025年には団塊の世代が75歳以上となり、大相続時代を迎えるといわれており、相続税の節税対策としての注目も高まっております。投資用不動産に注目が集まる中、昨今の購入者の関心は、収益だけでなく、環境に配慮された商品へシフトしています。また世界的にも、グリーンリカバリー(※)の考え方のもと、ESG投資などの注目が高まっております。

しかし、実際に収益も伴わない物件では、持続的な運営ができず、長期的な環境対策は成り立ちません。今回の「タスキSmart不動産」は、満室時の想定利回りが約4.5%と、従来商品と遜色ない水準を実現いたしました。

いずれは、「タスキSmart」でのさらなるCO2排出削減を目指し、物件への太陽光パネルや防災に備えた蓄電池の搭載なども予定しております。今後当社で開発する商品は、全て「タスキSmart」シリーズに移行していき、2050年のカーボンニュートラルの実現、環境への配慮と並行し事業を拡大してまいります。

(※) グリーンリカバリーとは新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退への対策で、環境を重視した投資などを通して経済を浮上させようとする手法

◆ 株式会社タスキの会社概要

『タスキで世界をつなぐ』を企業理念に掲げる株式会社タスキは、新築投資用IoTレジデンスの企画開発を中心に、不動産テック領域で事業を展開しています。アナログな商習慣が未だ残る不動産業界をテクノロジーの力で変革し、“ライフプラットフォーム”として、人々の豊かな暮らしを実現させていきます。

社名：株式会社タスキ

代表者：代表取締役社長 村田 浩司

URL：<https://tasukicorp.co.jp/>

本社：東京都港区北青山2-7-9 日昭ビル2F

設立：2013年8月12日

資本金：10億1,246万円